

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

今年度は、国が保育士の配置改善案を提示し、ようやく重い腰を上げたかと感慨深いものがありました。

しかし、その内容はいえ、十分と言っには程遠いと言わざるをえません。

先号で、本年度の県への要望事項をお伝えしましたが、そこに記したように、基本的な職員配置人数以外にも、諸観点から、さらに手厚い配置が必要であり、保育関係者であれば、その切実さは納得していただけるものと思います。

また、保育業界には、配置基準以外にも、保育士不足、少子化や人口減少を背景とした定員割れ、物価高騰、キャリアアップ研修等々、さまざまな問題を抱えており、いずれも園を安定的に継続していく上で、大きな危機となりうるものです。

改善に向けて状況が一步でも進むよう、九月四日には、県会議員の方々にも要望を強くお伝えしました。

財政的な問題が大きく立ちはだかることであり、なかなか具体的な改善には至りませんが、粘り強く、繰り返し声を上げていくこと

が未来の成果につながると信じております。今後も、保育界の抱える問題についてアンテナを張り、皆様の声を反映していけるよう努めます。

海外交流委員会

委員長 認定こども園 原町保育園 鶴谷由美子

感染症対策も緩和され、今年度は国内ではありますが、海を越えて北海道にある公私連携幼保連携型認定こども園「はやくた子ども園」への視察研修が実現しました。こども園だけではなく小中一貫義務教育校まで見せていただきました。

来年度は四年ぶりとなる海外研修の実施を計画しています。研修先は「ベトナム」です。

日程は令和六年六月二日から六日の予定です。諸外国における保育制度や保育の実態を直接その国に降り立ち学びたいと考えています。

教育にかかわる行政との話し合いや施設見学をしながら、日本とは違う文化や生活に触れ見聞を広めると共に、研修期間を共に過ごす仲間との親睦を深め、有意義な時間になるよう計画しています。

具体的な募集のご案内は、令和六年三月ご

りとなりますので多くの皆さまにご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

少子化等問題検討委員会

委員長 認定こども園 原町保育園 鶴谷由美子

毎年十一月は児童虐待防止推進月間と定められており、静岡県でも十八日に「児童虐待防止静岡の集い」が静岡市民文化会館中ホールで開催されました。講演会とパレードに、静岡県保育連合会会長、静岡市内の園長などが参加しました。講演会では一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長である島田妙子氏から、自身が児童養護施設で育った経緯や本当の意味での児童虐待の予防とは何か、実体験から感じた話を聴くことができました。

静岡県内の地域子育て支援の関心と理解を求める啓発活動を推進する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。ぜひ助成金を活用していただきたいと思えます。また、啓発品について「あいあいホットマーク」のクリアファイル、付箋セット、ピンバッジがありますので、協力金へのご支援もよろしくお願いいたします。

～活動の報告と計画～

研修委員会

委員長 桜木こどもの森 岡田博次

七月十八日に保育士等養成校との意見交換会が開催されました。本年度から保育連合会理事も参加し、より活発な意見交換会となりました。別途、詳しくご報告いたします。

これまでに左記の研修会が終了しています。主な講師等のご紹介です。

● 育児相談研修会（十一月一日）

会 場 静岡音楽館AOI

主な講師 有沢孝治氏（東海大学教授）

● 民間園長研修会（十一月二十二・二十一日）

会 場 熱海後楽園ホテル

主な講師 大森康雄氏（私保連単価検討部会長）・脇淵竜舟氏（かみいしづこどもの森園長）

● 施設長研修会（十二月十九日）

会 場 グランシップ静岡

主な講師 田宮縁氏（静岡大学教授）・村中直人氏（子ども・青少年育成支援協会代表理事）

今年度内の今後の計画は次の通りです。

○ 新規採用予定職員研修会（二月）

来年度は、こども誰でも通園制度の本格実施や二〇二五年問題等へ対応するべく、研修

内容を検討中です。ご参加お待ちしております。

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

今年度予定していた保育士等キャリアアップ研修で静岡県から受託した研修は、eラーニングも含め無事実施することが出来ました。

受講者約三千名の方へ修了証を発行する予定です。ただ今年度も受講できなかった方が相当数出てしまいました。予算上受け入れ枠に制限がありすべての希望者を受け入れられない状況が続いていますが、県保連でも県の指定を受け会員向けのeラーニングでのキャリアアップ研修を有料ですが開催し約四百名の受講者の方が受講しています。

保育の質の向上のために資する研修になるよう次年度に向け、県担当者調整しながら計画を進めているところです。

また、こども園限定ですが処遇改善加算対象の研修も実施されています。それぞれ計画的に受講を進めていってくださいますよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

青年部会

部会長 すみれ認定こども園 後藤恭佑

あけまして、おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。さて、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、だれでも通園制度をかきりに、新しい情報がいくつも出ています青年部としましてもいち早く情報をとりいれ、次年度、またさらにその先を見越した経営戦略に発展すべく、様々な機会、人、交流を持ちながら発信また、とりいれていきたいと思えます。さらに益々青年部会の活動も活発になっていきます。幼児教育、人材確保、待機児童問題等々、問題は山積みですが、青年部会は「サードプレイス」第三の場所ということテーマに様々な取り組みや交流をしていきます。実行可能な組織として、引き続き会員の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

● 実績報告

○ 令和五年度 西部支部青年部研修会

期日 令和五年七月二八日

○ 全国私立保育連盟青年会議 広島大会

期日 令和五年十一月一日・二日

○ 令和五年度 東部支部青年部研修会

期日 令和五年十一月十一日